

令和4年度
第1回みき歴史資料館協議会次第

日 時：令和4年10月12日（水）
午後1時30分～3時
場 所：みき歴史資料館 3階 講座室

1 開 会

2 部長挨拶

3 委嘱状交付

4 自己紹介

5 会長及び副会長の選出

6 議 事

(1) 報告事項

ア 令和4年度上半期実施事業報告・利用者実績

イ 令和4年度下半期実施事業計画

(2) 協議事項

ア 令和5年度事業計画予定（案）について

イ その他

7 その他

8 閉 会

令和 4 年度上半期実施事業報告

1 運営体制について

三木市の条例に基づき、三木市教育委員会教育総務部文化・スポーツ課長の指揮・監督のもと、文化遺産係が館長を中心にして当館の管理運営を行っている。

・ 人員配置

文化遺産係	正規職員 1 名（係長） 会計年度任用職員 8 名（館長 1 名、学芸員 2 名、 事務補助員 3 名、埋蔵文化財調査補助員 2 名）
-------	---

2 常設展について

三木の歴史を 6 つの時代に分けて、発掘調査によって出土した遺物、古文書などの歴史資料を約 300 点展示している。今年度は「古墳時代の三木」コーナーの展示の一部を、盾形埴輪に代えて須恵器坏蓋、須恵器坏身、須恵器壺、須恵器筒形器台に入れ替えた。

過去 2 年間のような新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館もなく、今年度はこれまで通常通り開館している。入館者数は 9 月 30 日現在で延べ 8,251 人（前年度比 254.6%）となっている。

3 企画展の開催について

企画展を 2 階企画展室において年 4 回開催する予定。上半期は下記のとおり 2 回開催。

○ 「神戸電鉄粟生線開通 70 周年～三木駅新駅舎完成記念～」

会期：4 月 9 日（土）～6 月 26 日（日）（開館日数：67 日）

内容：開通 70 周年を迎えた神戸電鉄粟生線の歩みを、近年の粟生線活性化の取組や、3 月に完成した三木駅新駅舎の様子とあわせて紹介。来館者 4,698 人。

○ 「三木飛行場の記憶」

会期：7 月 16 日（土）～9 月 25 日（日）（開館日数：62 日）

内容：太平洋戦争末期に建設された三木飛行場の当時の写真やゆかりの資料を通して、飛行場や兵隊、近隣住民との交流の様子など

を紹介。来館者 2, 831 人。

4 講演会・イベント等について

新型コロナウイルス感染防止のために、参加人数を通常の半数程度に制限するなどしながら、当初の予定通り企画展特別講演会や歴史ウォーク、企画展に関連したイベントなどを開催。

○企画展特別講演会「神戸電鉄の歴史」

日時：4月24日（日）

講師：中西信（当館学芸員）

内容：開通70周年迎えた神戸電鉄粟生線の歩みを資料や写真等から振り返り、鉄道敷設の経緯や沿線地域発展への役割等を紹介。参加者42人。

○企画展特別講演会「神戸電鉄の魅力～粟生線を中心として～」

日時：5月15日（日）

講師：米倉裕一郎氏（デ101まもり隊事務局代表）

内容：「粟生線サポーターズくらぶ」や「デ101まもり隊」にかかる豊富な経験を踏まえて、神戸電鉄の魅力や沿線の見どころを紹介。参加者40人。

○企画展特別講演会「三木飛行場をさぐる」

日時：8月6日（土）

講師：宮田逸民氏（三木飛行場を記憶する会代表）

内容：30年にわたる宮田氏の研究をもとに、三木飛行場の沿革やゆかりの飛行隊、飛行兵、近隣住民との交流の様子などについて講演。参加者38人。

○歴史ウォーク①「近世絵図で歩く三木城跡コース」

日時：5月22日（日）

案内：金松誠（当館係長）

内容：当館を発着点として、三木城の本丸跡、二の丸跡、新城跡、鷹尾山城跡、宮ノ上要害を巡回。参加者11人。

○企画展関連イベント「楽しい鉄道模型走行会」

日時：4月9日（土）、10日（日）、23日（土）、24日（日）
5月3日（火）～5日（木）

内容：神戸電鉄職員の協力で、7回にわたって館内に設置した鉄道模型を走行。見学者は延べ744人。

○企画展特別イベント「鉄道写真を撮ってみよう！」

日時：6月12日（日）

内容：デ101まもり隊スタッフの協力で、鉄道風景写真の撮影ノウハウを伝授。参加者12人。

○企画展展示資料解説会

日時：7月24日（日）、9月3日（土）

解説：宮田逸民氏（三木飛行場を記憶する会代表）

内容：企画展「三木飛行場の記憶」の展示資料を、展示室で2回にわたって解説。参加者は延べ36人。

○特別講演会「歴史を活かした三木の街づくり」

日時：9月25日（日）

講師：田辺真人氏（園田学園女子大学名誉教授）

内容：兵庫県の歴史に精通し、ラジオのパーソナリティーとしても活躍されている田辺氏が『播磨国風土記』のオケ・ヲケ伝説など、三木にまつわる歴史を紹介。参加者72人。

○協賛展示「時の記念日展」

会期：6月10日（金）～7月9日（土）（開館日数：26日）

内容：観光振興課主催「みっきい子午線フェスタ2022」の協賛事業として、三木市内に点在する子午線モニュメントをパネルで紹介。来館者1,185人。

○協賛事業「歴史を巡る播磨路の旅・御城印」の販売

期間：4月28日（木）～

内容：東・北播磨4市の観光協会の連携による、城跡を活用した観光客誘客促進事業の協賛として、「秀吉本陣」の御城印を2,000枚制作・販売。販売枚数614枚（9月30日現在）

5 新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染防止のために、以下の対策を実施している。

- ・ 入館時のアルコール消毒の徹底
- ・ 非接触式検知器による入館時の検温の徹底
- ・ 館内でのマスク着用の呼びかけ
- ・ 加湿空気清浄機による換気の充実
- ・ 講演会やイベント等での参加人数の制限
- ・ 来館者の接触部分のアルコール消毒

6 歴史資料館ボランティアについて

歴史資料館ボランティア10名については、接触による新型コロナウイルス感染防止のため館内ガイドは引き続き休止している。

なお、感染リスクのより少ない新しい活動として、『三木の石造品Ⅳ―志染地区編一』の発刊に向けた石造品調査を4月～5月に3回実施した。

7 その他

6月に屋外灯転倒防止応急措置と2階避難口誘導灯交換作業を実施した。

令和 4 年度下半期実施事業計画について

1 企画展の開催について

開催期間	企画展	展示内容
10/22(土)～12/18(日)	「地域の史料たち 6 ～吉川の歴史 ～」	市史編さん室との共催展として、新三木市史地域編『吉川の歴史』の発刊に至るまでの取組や調査・研究のさまざまな成果について紹介。
1/21(土)～3/26(日)	「三木市内 小・ 中・特別支援学校 の校舎の記憶」	明治時代以降に開校された市内の小・中・特別支援学校の変遷を、近年の統廃合で廃校になった学校も含めて、校舎を中心に関係資料や写真を通して紹介。

※開催期間等について変更になる場合があります。

2 企画展特別講演会の開催について

- 「地域の歴史を楽しむ－新三木市史地域編『吉川の歴史』の発刊」

講師：藤田均氏（三木市史編さん委員会吉川部会長）

日時：11月26日(土) 10時～12時

会場：三木市立みき歴史資料館 3階講座室

定員：先着60名（要申込、無料）

※開催日時等について変更になる場合があります。

3 歴史ウォークの実施について

- 歴史ウォーク②「ホースランドパーク周辺付城跡コース」

日時：10月30日(日) 9時～12時

内容：道の駅みきを発着点として、明石道峯構付城跡、シクノ谷峯構付城跡、高木大山付城跡、高木大塚城跡を巡回。

定員：先着15名（要申込、無料）

○歴史ウォーク③「吉川町有安・鍛冶屋の文化財コース」

日時：11月27日（日） 9時～12時

内容：旧中吉川小学校を発着点として、有安や鍛冶屋の板碑、有安城、有安2号墳を巡回。

定員：先着15名（要申込、無料）

○歴史ウォーク④「愛宕山古墳・正法寺古墳コース」

日時：12月18日（日） 9時30分～12時

内容：別所ふるさと交流館を発着点として、愛宕山古墳と正法寺古墳公園を巡回。

定員：先着15名（要申込、無料）

○歴史ウォーク⑤「秀吉本陣跡コース」

日時：1月29日（日） 9時～12時

内容：神戸電鉄恵比須駅を発着点として、竹中半兵衛の墓、秀吉本陣跡、竹中半兵衛陣所跡を巡回。

定員：先着15名（要申込、無料）

※開催日時、内容等について変更になる場合があります。

4 金物資料館特別企画展連動講座の開催について

○「先人の努力と技を後世に」

講師：杉田智彦氏（三木工業協同組合鋳部会）

日時：11月19日（土） 13時～14時

会場：三木市立みき歴史資料館 3階講座室

定員：先着40名（無料）

5 今後の課題について

- ・来館者の感想やニーズを活かした、幅広い世代の興味関心を引く企画展や各種イベントの検討、実施。
- ・三木城二の丸跡の発掘調査と連携した展示やイベントの検討、実施。
- ・観光協会や金物資料館、堀光美術館、市外の関連施設等と連携した事業の推進。
- ・歴史や文化に対する子どもたちの知的好奇心を高める事業の実施と、小

中学校との連携による地域学習の拠点としての利用率の向上。

- ウィズコロナに即したボランティア活動の充実や新たなボランティアの育成。
- ホームページやSNSを活用した、歴史文化遺産や館運営に係る情報発信の充実。
- 建物施設の老朽化対策（空調機器、照明設備、変圧器PCB処分など）。

令和 5 年度企画展事業計画（案）について

開催期間	展 示 内 容
4 月 1 5 日（土）～ 6 月 2 5 日（日）	「細川町の祭り屋台～六社神社を中心として～（仮）」 ・六社神社を中心に細川町の 4 つの神社で奉納する祭り屋台について、屋台用具を展示するとともに、古文書や古写真などの歴史資料を通じて、祭りの様子を紹介
7 月 1 5 日（土）～ 9 月 2 4 日（日）	「播磨の鉄道風景～過ぎ去った時間を再現する～（仮）」 ・三木市在住の鉄道写真家・神澤誠一氏所有の写真を中心に、戦後から最近に至るまでの播磨地方を中心とする鉄道風景を、当時の思い出を添えて紹介
1 0 月 1 4 日（土）～ 1 2 月 2 4 日（日）	「地域の史料たち 7（仮）」 ・市史編さん室との共催展として、これまで調査した歴史資料の展示を通して、三木の地域歴史遺産の魅力を紹介
1 月 2 7 日（土）～ 3 月 1 7 日（日）	「三木合戦と軍記物（仮）」 ・三木合戦の終結後に数多く作られた、三木合戦にまつわる軍記物を通して、どのように三木合戦が語り継がれてきたのかについて紹介